

プレミアム付き商品券「きりゅう商品券」発行について（改訂継続）

桐生市の商業は、商圈人口の減少・高齢化や、昨年1月からの新型コロナウイルス感染症の影響を受けたことにより、飲食業、小売業だけでなく様々な企業に影響が出ており、消費需要の低迷やIT技術の発達等による消費行動の多様化も重なり、大変厳しい状況が続いております。

桐生市におかれましては昨年度、コロナ禍での地域経済の停滞解消を図るとともに、市民の購買意欲拡大のための「地域経済応援事業」として、プレミアム率を過去最大の40パーセントに設定した「地元で使って、地元を支える！桐生応援プレミアム商品券」を発行され、765店舗の登録・62,200セットの販売があったことにより、商業振興に多大な成果を上げたところであります。

つきましては、今後も新型コロナウイルス感染症の影響が続いていくことが懸念されますことから、商業の活性化には欠かすことの出来ない消費の喚起・購買意欲の拡大につながる施策として、今年度もプレミアム付き商品券を発行していただきますよう、強く要望いたします。なお、発行にあたっては、複数回に亘っての発行、プレミアム率を20パーセント程度とし発行数を増やすなどのご配慮をいただきたく、併せてお願い申し上げます。

桐生市からの回答

プレミアム付き商品券につきましては、令和2年度に、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた地域経済の停滞解消を図るとともに、市民の購買意欲拡大のための「地域経済応援事業」として、「地元で使って、地元を支える！桐生応援プレミアム商品券」を発行いたしました。消費の喚起、購買意欲の拡大といった側面から一定の効果があったものと考えております。

今年度につきましても、新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中、市内の消費喚起を図り、市内経済の好循環を創出するため、「地元で使って地元を支える！第2弾桐生応援プレミアム商品券」を発行することといたしました。

プレミアム率を過去最大の50パーセントに設定した当商品券は、70,000セットの発行を予定しており、商品券が使用できる取扱店も約800店舗を見込んでおります。

一人世帯や高齢者の方も利用しやすくするため、1枚の券面額を500円とし、多くの市民が商品券を利用することで、地域経済の好循環が創出されるものと考えております。

また、新たな経済対策として、キャッシュレス決済推進事業を実施いたします。これは、市内の対象店舗でキャッシュレス決済を利用した方に対して、決済額の最大20パーセントを付与するキャンペーンであり、商品券事業と実施時期をずらすことで、消費の喚起・購買意欲の拡大が継続され、長期間に渡る地域経済の好循環が見込めるものと考えております。

[回答担当] 産業経済部商工振興課経済対策担当